

三重県地方卸売市場の将来的な在り方について

野口 正 議員
(自由民主党)
松阪市選出



問

ネット販売の拡大や直接取引の増加など、生鮮食品品の流通環境が大きく変化するなか、地方卸売市場における取扱金額は減少が続いています。三重県地方卸売市場が生産と消費を結ぶ拠点としての役割を果たすためには、変化する社会経済情勢に適切に対応するとともに、老朽化した施設の修繕が必要だと思えます。県の考えをお聞かせください。



三重県地方卸売市場

答

県では、三重県地方卸売市場の老朽化した施設の改修や設備の更新、県内産地からの集荷量の拡大、市場関係事業者の働き手の確保に向けた支援を行うなど、今後も三重県地方卸売市場が県民へ安全・安心な生鮮食品品を安定的に供給する役割を果たしていけるよう、市場関係事業者と連携し、市場機能の維持・向上に取り組みます。

その他の質問事項

○県内にある歴史的価値のある建物について

○開発許可の審査について
て ほか



▲一般質問 (野口 正 議員)

コロナ禍を経て次代につながる「ごみゼロ」の取り組みについて

中瀬古初美 議員
(新政みえ)
松阪市選出



問

コロナ禍において、さまざまな物が使い捨てになり、家庭ごみが増加しています。かつて三重県は、ごみゼロ運動等に率先して取り組み、環境先進県と呼ばれていました。いまだ、その精神を取り戻し、家庭ごみの削減意識等を高めていくことが重要ではないでしょうか。ごみの削減対策や県民意識の向上について、県の考えをお聞かせください。

答

コロナ禍のライフスタイルの変化による廃棄物の排出状況を踏まえ、家庭での取り組みの重要性を再認識しました。今後も、市町をはじめさまざまな主体と連携し、スマートフォンアプリ等のICTの積極的な活用や、イベント等を通じて普及啓発を進めるとともに、食品ロス削減など、社会情勢に即した取り組みをより一層進めます。



ゼロギ (三重県ごみゼロキャラクター)

その他の質問事項

○県立文化施設を生かした三重県の活性化に向けて
○ひきこもり支援に係る包括的な支援体制の充実
を！ ほか



▲一般質問 (中瀬古初美 議員)

「ONSEN」を共通語として世界に発信することが、観光成長戦略となる

青木 謙順 議員
(自由民主党)
津市選出



問

温泉は、古来より人々の心身を癒してきた、日本人にとって不可欠なものであり、観光振興の面で重要な役割を果たすと考えます。現在、温泉の文化的価値を見つめ直し、次世代に継承するために、「温泉文化」の登録を目標と掲げ、観光振興を推進しています。登録について、知事の思いをお聞かせください。



答

県内に多数ある温泉は、重要な観光資源です。三重県は「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産登録を応援する知事の「一歩」に参画しており、4月の総会では、関西・大阪万博での温泉文化の発信を提案しました。ユネスコ無形文化遺産登録により、県内温泉地のさまざまな取り組みにさらに弾みがつくことを期待します。

その他の質問事項

○農業振興のための具体的な支援とは？
○「レクリエーション活動」の推進こそ、明るく豊かな社会づくりとなる



▲一般質問 (青木 謙順 議員)

三重県指定文化財等の活用について

森野 真治 議員
(新政みえ)
伊賀市選出



問

県には、多くの有形・無形文化財や史跡、天然記念物などがあります。これらを一度しかりと棚卸しして現状を把握するとともに、県民や観光客に楽しんでもらえるように磨きあげることこそが、県が行うべき地域振興、観光振興ではないでしょうか。県指定文化財等を観光資源として活用することについて、県の考えをお聞かせください。

答

文化財は、保存するだけでなく、活用され、後世へ継承されること大切で、まちづくりと観光誘客のために文化財を効果的に活用するために、素材を集め、情報を整理することが重要であると考えます。今後、文化財を守り伝えてきた所有者や地域の思い、関係する市町の意向や方針を改めて調査し、文化財のさらなる活用につなげます。

その他の質問事項

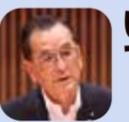
○救急搬送体制の確保について
○防災士の養成について
て ほか



▲一般質問 (森野真治 議員)

G7三重・伊勢志摩交通大臣会合について

山本 教和 議員
(自由民主党)
志摩市選出



問

G7三重・伊勢志摩交通大臣会合を控えた伊勢志摩は、三重県の歴史・伝統・文化の集積地として、7年前の伊勢志摩サミット以来、再び国内外から注目を集めています。この交通大臣会合を通して、新たな三重のステージが生まれることを期待しています。G7交通大臣会合にける知事の思いをお聞かせください。



答

伊勢志摩サミットが高い評価を得た結果、G7交通大臣会合を誘致できました。この会合で三重県の食や観光などの魅力をしっかりと発信したいと考えています。また、会合に直接携わるかどうかによらず、参加国の文化に触れられる取り組みを実施したいと考えています。交通大臣会合が成功するよう、全力をあげて取り組みます。

その他の質問事項

○知事のスペイン訪問について
○観光振興について
て ほか



▲一般質問 (山本教和 議員)

用語解説

1 OECD

Organisation for Economic Co-operation and Development (経済協力開発機構) の略称で、ヨーロッパ諸国を中心に、日本を含む38カ国が加盟する国際機関です。さまざまな分野における政策調整や協力、意見交換などを行っています。

4 観光地域づくり法人 (DMO)

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人で、国で登録しています。

2 線状降水帯

次々と発生する発達した雨雲が列をなして、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50〜300km程度、幅20〜50km程度の強い降水をともしょう雨域のことです。

5 防災士

防災に対する十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを認証する民間資格です。

3 インクルーシブ遊具

線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まることがあるため、大雨の半日程度前から気象庁による呼びかけが行われます。

体に障がいがある子どもも、ない子どもも一緒に遊べる遊具のことです。

「自助」「共助」「協働」を原則として、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待されます。

三重県議会の本会議等で用いられる議会運営用語の解説については、県議会ホームページの「用語解説」からご覧いただけます。



用語解説